

0201 イギリスの絵本

イギリス絵本前史

イギリスの絵本史をどこから始めるかは絵本をどう認識するかによるが、ここでは19世紀半過ぎ、ウォルター・クレイン、ランドルフ・コルデコット、ケイト・グリーナウェイによって、現代絵本の扉が開かれたという見方をしてみたい。と言っても、彼らが突如出現したわけではない。その前に準備期があったが、それはおおむねイラストレーションの複製印刷技術の進歩と連動する形であった。それを瞥見する前に、19世紀初めにイギリスで出版された絵本の歴史をたどる。



■01 クルックシャンク挿絵『コミック・アルファベット』(1836)



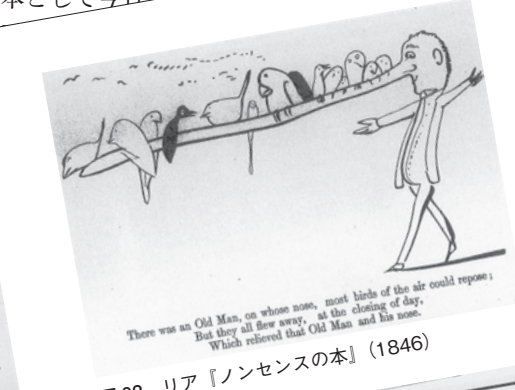
■03 クロウクイル『うっかりやのひよこ』(1853)



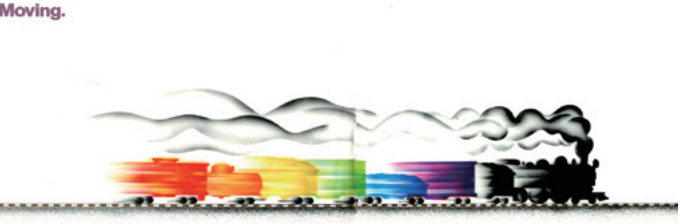
■04 ベネット『影』(1856)『食いしんぼうのプタ』



■05 ベネット『大食いジェムとたちの悲しいお話』(1857)



■02 リア『ノンセンスの本』(1846)



■08 ドナルド・クリューズ『はしれ！かもつたちのぎょうれつ』評論社(1980, 原書1978) ※写真は英語版



■09 イエラ・マリ『あかいふうせん』ほるぷ出版(1976, 原書1968)



■10 作：イブ・タイタス、絵：ポール・ガルドン、訳：晴海耕平『ねずみのとうさんアナトール』童話館出版(1995, 原書1956) ※写真は英語版



■11 作：ユリー・シュルヴィッツ、訳：瀬田貞二『よあけ』福音館書店(1977, 原書1974)



■12 Donald Crews『Carousel』Greenwillow Books(1982, 未邦訳)

Moving.

きりとり線

事項

読者対象

絵本の愛好者・研究者、美術児童文学、保育学、美術関係の学生から研究者、および学芸員

美術館・博物館図書資料室、公共図書館、学校図書館

【2011年11月刊】

【お申し込み書】この申し込み書にご記入のうえ、最寄りの書店にご注文下さい。

絵本の事典

B5判 656頁 定価15,750円(本体15,000円) ISBN 978-4-254-68022-5 C3571

冊

●お名前

□公費／□私費

●ご住所(〒 )TEL

取扱書店

〒162-8707 東京都新宿区新小川町6-29／振替00160-9-8673 電話 03-3260-7631／FAX 03-3260-0180 http://www.asakura.co.jp eigyo@asakura.co.jp

“心を育て、心を支え、心を伝え合う”  
絵本の魅力と広がりを一望する初めての事典。

# 絵本の事典

・ 編集者 ・

中川 素子  
(編集代表)  
文教大学教授

吉田 新一  
立教大学名誉教授

石井 光恵  
日本女子大学准教授

佐藤 博一  
京都造形芸術大学教授

世界各国の絵本の歴史と現況、絵本の種類、さらには方法論、表現論まであらゆる側面から絵本を分析・解説。これ1冊で絵本のすべてがわかる。

わかりやすい本文と、用語解説を見開きで組み合わせた効果的な構成で、多種多様なテーマが一目で理解できる。

B5判 656頁(カラー50頁)  
定価15,750円(本体15,000円)  
ISBN 978-4-254-68022-5 C3571

朝倉書店

朝倉書店



# 『絵本の事典』を推薦します

(五十音順)



坂根 厳夫

IAMAS(情報科学  
芸術大学院大学)  
名誉学長

すぐれた絵本は人々の感性を呼び覚ますメディア。昔、私が『遊びの博物誌』で紹介したブルーノ・ムナーリの“本に出会う前の本”「プレリブリ」や、絵を一切使わず、ページをめくる音だけで訴えるキース・ゴダードの「サウンド」などもそんな好例。そんな世界のすぐれた絵本を網羅したユニークな事典として推薦したい。



千住 博

日本画家  
京都造形芸術大  
学学長

ビジュアルアートとは見えないものを見えるようにすることだ。絵本は、それを縦糸に、物語性と視点の展開を横糸につむぎ、重層的に複雑な内容を可視化する驚くべきメディアだ。この優れた事典の完成で、それが一目瞭然になった。



肥田美代子

(財)文字・活字文  
化推進機構理事長  
童話作家

絵本を贈りあう生活文化の創造―を目標に掲げた「絵本・日本プロジェクト」が動き出しました。『絵本の事典』は、それと歩調よろしく誕生し、私たちの行動を支えています。絵本は活字文化の出発点なのです。



松居 直

福音館書店相談役  
NPOブックスター  
ト会長

乳幼児期から日々身近に絵本のある家庭生活をし、幼稚園での観察絵本の体験と、その後も絵本に接する機会を重ね、更に親としてわが子と絵本体験を共有しました。そして絵本編集と普及、また大学講師としても絵本とかわり続けました。そうした絵本体験の意義をこの『絵本の事典』が解き明かしてくれると期待しています。光あれ！



三木 卓

作家

ふだんは印刷絵本に何気なく接触しているが、それは描くことと人間の深く長い関係の結果である。『絵本の事典』が根底的なところから、絵本をとらえ、社会・文化で果して来、果していくであろう像をあきらかにしようとしているのは、とても興味深い。胸おどる成果である。

## 刊行のことば

心を育て、心を支え、心を伝え合う、そんな絵本の魅力を愛し、興味を抱く方がふえてきた。子どもや孫のためだけにでなく、自分自身のために絵本を買う大人も増えている。絵本の広がり可能性を頼に感じるこの頃である。

絵本は、さまざまな領域の研究対象にもなっている。児童文学や保育学、デザインなどの限られた分野だけでなく、心理学、表象学、医学、文化人類学、社会学、女性学などといった学際的なテーマとして、熱い眼差しを受けるようになっている。そういった多領域の中で、絵本を語るための用語を整理し、共通理解を促す必要性が出てきているのである。

1997年に絵本学会が発足してから、この事典の初版年度の2011年まで10年以上たってはいるものの、学問としての〈絵本学〉が完成しているわけではない。たとえば、英米の絵本についての研究者は多くても、アジアやアフリカなどの絵本についての情報は少なく、研究者も少ないなど、研究の広がりや深さに粗密があることもいめない。

また、絵本事典で項目としてとりあげる用語が、その用い方でよいと研究者同士の間で統一理解されているわけでもない。それどころか、検討する用語が今までにほとんどなく、部分的に新しく造語せざるをえないところもある。そんな状況の下、『絵本の事典』を出版することは、時期尚早であると考える方もおられるに違いない。しかし、学問は固定されずに動いていくエネルギーをもってこそ、価値が深まるのではないだろうか。そんな思いから、さまざまな未決定部分があっても、『絵本の事典』の出版に取り組むことにしたのである。

(「序」より)

## 編集代表

中川 素子 文教大学教授

## 編集委員

中川 素子 文教大学教授

吉田 新一 立教大学名誉教授

石井 光恵 日本女子大学准教授

佐藤 博一 京都造形芸術大学教授

## 協力編集委員 (五十音順)

今井 良朗 武蔵野美術大学教授

佐々木宏子 鳴門教育大学名誉教授

竹迫 祐子 安曇野ちひろ美術館副館長

永田 桂子 文京学院大学大学院非常勤講師

灰島 かり 翻訳家 (英文学)

和田 直人 山形大学教授

## 執筆者 (五十音順)

愛甲 恵子 翻訳家 (ベルシャ文学)

秋田 孝宏 漫画研究家

浅香 幸枝 南山大学

浅野 法子 梅花女子大学

荒井 督子 東京子ども図書館

生田 美秋 世田谷文学館

石井 光恵 日本女子大学

石澤小枝子 前 梅花女子大学

磯部 孝子 中京大学

糸井 江美 文教大学

今井 和也 前 帝京平成大学

今井 美樹 大阪工業大学

今井 良朗 武蔵野美術大学

今井 由香 日本女子大学

岩本 憲子 吹田市立中央図書館

上野 陽子 翻訳家 (ドイツ文学)

宇野 和美 翻訳家 (スペイン文学)

宇野 勉 (株)アップライト

延藤 安弘 建築家、NPO法人まちの緑育舎(代表)

大橋眞由美 和歌山信愛女子短期大学

小澤佐季子 梅花女子大学

織田まゆみ 大同大学

落合 恵子 作家、クレヨンハウス主宰

小野田澄子 翻訳家 (チェコ文学)

加賀美裕子 東京展覧委員会、ワタナベ・アーク01に

攪上 久子 実践女子大学

加藤 康子 梅花女子大学

神谷 友子 絵本研究家

加持 ゆか グラフィックデザイナー

川西 芙沙 翻訳家 (ドイツ文学)

河野 芳英 大東文化大学

ガツェンユラ・好季 ミュンヘン国際児童図書館

北野佐久子 翻訳家 (日本文学)

楠瀬 佳子 ハーブ研究家

楠見 清 京都精華大学

久保村里正 首都大学東京

黒川 妙子 文教大学

黒川 妙子 国際識字文化センター

香曾我部秀幸 梅花女子大学

近藤 昭子 前 須榮短期大学

近藤 研至 文教大学

斎藤 惇夫 作家、児童文学者

立教大学

斎藤 美加 翻訳家 (スウェーデン文学)

佐伯 愛子 金沢市立美術工芸大学

坂本 満 前 鳴門教育大学

佐々木宏子 筑波大学

笹本 純 京都造形芸術大学

佐藤 博一 絵本研究家

澤田 精一 藤女子大学

柴村 紀代 大正大学

ジャワソグネル 白百合女子大学

白井 澄子 武蔵野美術大学

申 明浩 武蔵野美術大学

末松氷海子 翻訳家 (フランス文学)

鈴木安一郎 グラフィックデザイナー

高鷲 志子 東京学芸大学

瀧川 光治 関西国際大学

武井 利喜 小さな絵本美術館

竹迫 祐子 安曇野ちひろ美術館

田島 伸二 国際識字文化センター

田中 友子 翻訳家 (ロシア文学)

田中 泰子 カスチオール会の会

谷 暎子 前 北星学園大学

辻 政博 東京都園画工作研究会

角田 巖 前 文教大学

徳高 博樹 長野市立篠ノ井東小学校

中 由美子 翻訳家 (中国児童文学)

中川 素子 文教大学

永田 桂子 文京学院大学

中村 悦子 前 大妻女子大学

中村 喜和 前 一橋大学

那須 孝幸 北九州市立美術館

成田奈緒子 文教大学

西脇由利子 絵本研究家

沼辺 信一 絵本収集・研究家

野口 薫 中央大学

野坂 悦子 翻訳家 (オランダ文学)

野中 成夫 前 信州大学

灰島 かり 翻訳家 (英文学)

ばく きょんみ 詩人

長谷川弘子 杏林大学

畠山 兆子 梅花女子大学

林 昌樹 前 東京薬科大学

原 昌 前 中京大学

坂内 徳明 一橋大学

廣田眞智子 絵本研究家

福井 信子 東海大学

福本友美子 翻訳家 (英米文学)

藤本 朝巳 フェリス女学院大学

本庄美千代 武蔵野美術大学美術館・図書館

正木 賢一 東京学芸大学

正置 友子 絵本学研究所

間崎ルリ子 鳴の子文庫

増田 喜昭 子どもの本専門店リー・ゴーランド

松岡希代子 板橋区立美術館、IBBY理事

松方 路子 安曇野ちひろ美術館

松本 泰治 (株)日本実業出版社

丸尾 美保 梅花女子大学

水沢 勉 神奈川県立近代美術館

水間 千恵 神奈川県立近代美術館

三宅 興子 前 梅花女子大学

宮崎 詞美 横浜美術大学

村中 李衣 梅光学院大学

百々佑利子 日本語版「ブックバード」編集長

森 覚 大正大学

森泉 文美 翻訳家 (イタリア語)・企画調査

矢野 智司 京都大学

山田志麻子 うらわ美術館

吉岡しげ美 音楽家

吉田 新一 前 立教大学

和田 啓子 白百合女子大学

和田 直人 山形大学

## 内容目次

### 1. 絵本とは

1.1 絵本の起源

1.2 絵本のメディア・リテラシー

### 2. 絵本の歴史と発展

2-01. イギリスの絵本 (イギリス絵本前史／絵本のはじまり：17～19世紀初頭／19世紀前半／第一期黄金時代／世紀末から20世紀初頭の絵本／ビアトリクス・ポター、その絵本と特徴／第一次世界大戦前後：1910～1920年代／第二期黄金時代／現代：1980年以降)

2-02. ドイツ (ドイツ語圏) の絵本 (ドイツ市民の風刺絵本／生活改善の絵本／中世におけるドイツの絵本／啓蒙思想の絵本／ロマン主義影響下の絵本／ビルダーボーゲン・一枚絵／1945～1954年／1955～1970年／1971～1980年／1981～2008年)

2-03. フランスの絵本 (フランス絵本前史：民衆本／宮廷・貴族の子どもたちの文学と挿絵／子どものための初期の雑誌：大人が子どもに与えたもの／大出版社の登場／絵本の開花期／マンガ／現代)

2-04. アメリカの絵本 (誕生から発展 (1980年) まで／絵本領域の拡大と画法の多様化／現代の作家たち／現代)

2-05. ロシア (ロシア語圏) の絵本 (社会主義革命以前／社会主義時代：黄金期、スターリン期、「雪解け」期、「停滞」から「ペレストロイカ」へ／ソ連崩壊後)

2-06. 日本の絵本 (江戸時代以前／明治時代／大正時代／昭和：終戦まで、戦後～1970年代／現代：1980年代～1990年代、2000年代～ など)

### 3. 絵本と美術 近代から現代

3-01. 19世紀の技術革新 (写真の発明と新しい視覚体験／複製印刷技術)

3-02. 産業革命後の美術・工芸運動 (アーツ・アンド・クラフ

ツ運動と私家版工房／アール・ヌーボー／欧米の世紀末様式／近代デザインへ)

3-03. モダンアートの影響 (絵画のモダニズム／ロシア・アヴァンギャルド／ダダ／シュルレアリスム／イタリア未来派／日本のモダニズム)

3-04. 戦後美術の多様化 (表現の多様化と時代性／本に向ける目／オブジェ／時代把握の作品化／デザインの視点／アート・アンド・テクノロジー)

### 4. 世界の絵本 各国にみる絵本の現況

4-01. イタリア

4-02. オランダ、ベルギー

4-03. スペイン

4-04. 北欧諸国 (スウェーデン／デンマーク、ノルウェー、フィンランド、アイスランド)

4-05. 中欧諸国 (チェコ、ポーランド)

4-06. 中国、台湾

4-07. 韓国

4-08. アジア諸国 (インド、フィリピン、マレーシア、タイ、インドネシア／アジア地域の絵本を通じての国際交流と課題／イラン)

4-09. アフリカ諸国

4-10. カナダ

4-11. 中南米諸国

4-12. オーストラリア、ニュージーランド

### 5. 絵本いろいろ

5-01. 物語系絵本―物語を内容とした絵本

5-02. 自然・社会科学系の絵本―知識の伝達を内容とした絵本

5-03. 宗教系の絵本―宗教の世界をテーマにした絵本

5-04. ことばの絵本―ことばや文字を主題とした絵本

5-05. 読者対象別の絵本―年齢によって対象をしぼった絵本

5-06. 障害に対応する絵本―障害・病気を理解するための絵本

5-07. キャラクターの絵本―絵本から生まれたキャラクターの絵本

5-08. あそべる絵本―おもちゃのように使って遊ぶこともできる絵本

5-09. 用途別の絵本―さまざまなシーンに合わせて作られた絵本

5-10. 形や大きさ、形態、素材の違いによる絵本―通常の本の形とは異なった形を持たせた絵本

5-11. 視聴覚系の絵本―表現方法を広げた絵本

5-12. しかけのある絵本―さまざまなしかけで立体的な表現を加えた絵本

5-13. ハイテク系の絵本―紙以外の媒体で表現する絵本

5-14. 流通・販売形態と絵本

5-15. パーソナルな目的で作られる絵本

5-16. PR活動と絵本

### 6. 絵本の視覚表現

6-01. 製本の種類と本の各部の名称

6-02. 造本・印刷と表現特性

6-03. しかけ絵本

6-04. 絵本の表現構成

6-05. 平面表現の基本的要素と視覚効果

6-06. 絵本のタイポグラフィ

6-07. ビジュアルイメージの素材と技法 (画材／表現技法／布絵本)

6-08. 絵本における映画的特性

6-09. 絵本の周辺に見る視覚表現 (紙芝居、パネルシアター、人形劇／絵本とマンガ／絵本とアニメーション／絵本とイラストレーション)

6-10. 絵本づくりのプロセス

### 7. 絵本のことば

7-01. ことばの表現 (1)：音韻

7-02. ことばの表現 (2)：文体

7-03. テキストの構造

7-04. 翻訳

### 8. 絵本と諸科学

女性学、ジェンダー／建築／ファッション／物理学／医学／食文化／音楽／教育学／詩学

### 9. 絵本でひろがる世界

9-01. 子どもと絵本

9-02. 教育現場と絵本 (小学校・中学校／文学、英語教育／造形、美術教育)

9-03. 医療と福祉における絵本の活用 (入院と絵本、病児保育／福祉、介護)

9-04. 絵本による産業と経済の活性化

9-05. 絵本がつくる社会と政治 (地域づくり、町おこし／冷戦時代の東欧における発禁本／ソビエトロシアにおける思想統制／時代による解釈)

9-06. 絵本との出会い (美術館 (絵本原画展を含む) ／図書館／文庫活動／絵本専門書店)

### 10. 資料

文献ガイド

絵本の賞

絵本美術館、作家記念館

絵本原画展

関連団体

### 索引 (事項・人名・書名)